

# 平成28年度 基本評価調書

施策名	木質バイオマスエネルギーの利用促進	所管部局	水産林務部	作成責任者	水産林務部長 小野寺 勝広	施策コード	07	07
		照会先	総務課政策調整G (内28-163)	関係課	林業木材課、道有林課			

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)			総合計画の指標
		2	経済・産業	(1) 農林水産業の持続的な成長	林業・木材産業の振興を図り、資源の循環利用を進める森林づくり		
	2	経済・産業	(4) 新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進	新エネルギーの開発・活用促進や環境・エネルギー産業の創造			新エネルギー導入量(設備容量、発電電力量、熱量)
北海道創生総合戦略		A3156	北海道強靱化計画	B4111	新・北海道ビジョン	C02001、C02004、C02005、C03404、C08811、C09607	
特定分野別計画等	北海道森林づくり基本計画、北海道森林吸収源対策推進計画						

現状と課題	・平成28年に大規模木質バイオマス発電施設が道内3カ所で稼働する予定であり、今後も増加する見込みであることなど、エネルギー利用のための木質バイオマスの需要が高まっている。	施策目標	・林地未利用材等木質バイオマスの安定供給体制づくりに取り組むなどして、木質バイオマスエネルギーの利用を促進する。
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	【木質バイオマスの安定供給体制の構築】 〔道〕木質バイオマスの安定供給対策に向けた取組の推進 〔国〕発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドラインの整備 〔市町村・民間〕木質バイオマスの利用推進	施策の予算額	
		H27	785,564
		H28	33,981
H29			

今年度の主な取組	<p>利用促進対策の検証と地域資源量の精査、搬出・集荷システムの実証・定着化、国費事業の活用による搬出間伐を促進する。</p> <p>木質バイオマスの利用・供給実態の把握、地域関係者の連携による効率的な流通体制構築に向けた検討を行う。</p>
----------	---

・主要指標に係る取組  
・その他の取組

# Do & Check 施策評価

## 1 - 2 取組の結果

実 績 と 成 果 等		(関連する計画等)		
		総合戦略	強靱化	ビジョン
<p>・樹種や地形等の地域特性に応じた林地未利用材の集荷技術を確立するため、平成27年度は6振興局管内(空知・石狩・後志・日高・渡島・オホーツク)において、林業事業体や市町村等連携による効率的な集荷システムの実証を行い、搬出方法の工程や事業コストに関する知見が蓄積された。平成28年度は6振興局管内(上川、留萌、宗谷、十勝、釧路、根室)で実施中。また、間伐による木質バイオマスの供給量の増加を図るため、7齢級以下の若齢人工林や不成績林分における搬出間伐を促進し、搬出量が前年度比で55%増加した。さらに、木質バイオマス燃料の加工・利用施設等の整備を支援し、木質バイオマスのエネルギー利用量が前年度比で5%増加した。大規模発電施設が平成28年1月に1カ所稼働し、更に、平成28年度中に2カ所稼働する予定となっており、今後、木質バイオマスのエネルギー利用は大幅な増加が見込まれる。</p>		A3156	B4111	C02001、C02004、C02005、C03404、C08811、C09607
<p>・平成28年度より地域の関係者と連携して、林地未利用材を効率的に集荷・運搬するため、搬出から運搬までの一体的・効率的な流通体制の構築に向けた検討を進めている。</p>		A3156	B4111	C02001、C02004、C02005、C03404、C08811、C09607
(2) その他の取組の成果等				
<p>国等提案・要望状況</p>	<p>・熱利用や発電など、木質バイオマスのエネルギー利用を促進するため、未利用間伐材の搬出や広域からの集荷や、木質バイオマス利用施設の整備などへの支援施策の充実を図るよう農林水産省に要望を行った。(平成27年7月)</p> <p>・木質バイオマスのエネルギー利用を促進するため、未利用間伐材の効率的な収集・運搬や利用施設等の整備などへの支援策の充実を図るよう農林水産省に要望を行った。(平成28年8月)</p>	<p>施策に関する道民ニーズ</p>	<p>・林地未利用材を活用した地産地消型の木質バイオマスの利用促進を図ること。(平成27年11月 北海道経済連合会要望)</p> <p>・道では、上記の要望等を踏まえつつ、林地未利用材の収集・運搬するための路網の整備や高性能林業機械の導入、さらには、燃料となるチップの加工施設やボイラー等利用施設の整備に支援。</p>	

施策名	木質バイオマスエネルギーの利用促進	施策コード	07	07
-----	-------------------	-------	----	----

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	廃棄物等の発生抑制、発生した廃棄物等の有効利用、適正処理の定着、さらには、バイオマスの利活用の推進、リサイクル関連産業の発展及び循環型社会ビジネス市場の拡大に向けた連携	N0304	環境生活部課循環型社会推進課	庁内関係部課等で構成するバイオマス利活用推進連絡会議において、木質バイオマスエネルギーの利用状況や木質ペレットの生産状況等について情報提供し、木質バイオマス利活用の円滑な推進を図った。 なお、木質バイオマスエネルギー利用施設数は前年度と比較して、発電施設が24%増加、木くず焚ボイラーが1%増加、ペレットボイラーが3%増加した。
		N0512	経済部環境・エネルギー室	
	庁内の関連する取組を「ガイアNEXTプロジェクト」として北海道地球温暖化対策推進本部で決定し、総合的に推進	N0303	環境生活部低炭素社会推進室	木質バイオマスは、大気中の二酸化炭素の増加に影響を与えないカーボンニュートラルな燃料であることから、「ガイアNEXTプロジェクト」の一環として、木質バイオマス関連事業の公表を行った。 なお、高性能林業機械や加工・利用施設の整備により木質バイオマスエネルギー利用量は、前年度比で5%増加した。

平成28年度 基本評価調書

施策名	木質バイオマスエネルギーの利用促進	施策コード	07	07
-----	-------------------	-------	----	----

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定 | 3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか	
		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H37						
道産木材の利用量(万m <sup>3</sup> )		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	B	評価年度	H26	最新の実績はH26年度の統計の数値、平成26年度においては、消費税増税直前の駆け込み需要の反動により新設住宅着工戸数が減少したことの影響などから、実績値が目標値を下回ったが、高次加工施設の整備、高性能林業機械の導入への支援などの木材産業の競争力強化の取組の結果、道産木材の自給率が上昇(H25 55% H26 56%)するなどの成果があった。 なお、各年度の目標値は、「北海道森林づくり基本計画」に基づいて算出している。	
		基準値	400	目標値	445	最終目標値	520	年度	H26	H27	進捗率		
〔指標の説明〕 森林づくりに伴い算出され利用される木材の量	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	415.0	430.0	520.0	実績値	396.2	-	396.2
		増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		達成率	95.5%	-	76.2%				

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか	
		基準年度	H24	年度	H28	最終年度	H37						
新エネルギー導入目標 〔発電分野〕設備容量(万kW)		基準年度	H24	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H26	経済部の「環境・エネルギー産業の振興」と指標を共有しており、当部はバイオマスエネルギーの適切な利用の推進が新エネルギー全体の導入推進につながるという観点で関与。 最新の実績はH26年度の統計の数値 再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入(平成24年7月)を契機に太陽光などの比較的大規模な発電設備の整備が進んだことにより、実績値が大きく伸びた。	
		基準値	149	目標値	(215.5)	最終目標値	282以上	年度	H26	H27	進捗率		
〔指標の説明〕 道内における新エネルギー発電設備の設備容量を示すもの H32に目標を達成し、以降それ以上をめざすこととしている	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	182.3	198.9	282.0	実績値	202.5	-	202.5
		増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		達成率	111.1%	-	71.8%				

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか	
		基準年度	H24	年度	H28	最終年度	H37						
新エネルギー導入目標 〔発電分野〕発電電力量(百万kWh)		基準年度	H24	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	B	評価年度	H26	経済部の「環境・エネルギー産業の振興」と指標を共有しており、当部はバイオマスエネルギーの適切な利用の推進が新エネルギー全体の導入推進につながるという観点で関与。 最新の実績はH26年度の統計の数値 再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入(平成24年7月)を契機に太陽光や風力の導入が進んでいるほか、エネルギー地産地消の取組支援などにより、地域の特性を活かした取組が生まれてきている。	
		基準値	5,866	目標値	(6,991)	最終目標値	8,115以上	年度	H26	H27	進捗率		
〔指標の説明〕 道内における新エネルギー発電設備による発電電力量を示すもの H32に目標を達成し、以降それ以上をめざすこととしている	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	6428.5	5950.4	8115.0	実績値	5924.0	-	5924.0
		増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		達成率	92.2%	-	73.0%				

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H24	年 度	H28	最終年度	H37					
新エネルギー導入目標 【熱利用分野】熱量(TJ)	基準年度	H24	年 度	H28	最終年度	H37	達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか ・経済部の「環境・エネルギー産業の振興」と指標を共有しており、当部はバイオマスエネルギーの適切な利用の推進が新エネルギー全体の導入推進につながるという観点で関与。 ・最新の実績はH26年度の統計の数値 ・エネルギー地産地消の取組支援などにより、バイオマスや地熱など、地域の特性を活かした取組が生まれてきている。	
	基準値	12,257	目標値	(16,195)	最終目標値	20,133以上	年 度	H26	H27	進捗率		
〔指標の説明〕 道内の熱利用分野における新エネルギー導入量を示すもの H32に目標を達成し、以降それ以上をめざすこととしている	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	14226.0	15210.5	20133.0	達成度合の分析 ほか ・最新の実績はH26年度の統計の数値 ・エネルギー地産地消の取組支援などにより、バイオマスや地熱など、地域の特性を活かした取組が生まれてきている。		
	北海道総合計画 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画〔第1期〕	増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		実績値	13242.0	-	13242.0			
						達成率	93.1%	-	65.8%			

本施策に成果指標を設定できない理由	判定 (直近の達成率(%))	A 100以上	B 90以上100未満	C 80以上90未満	D 80未満	- 算定不可	結果
	主要指標	1	3				
	関連指標						



< 様式5 >

Do & Check

施策評価の一次評価結果(各部署等による評価)

5 一次評価結果

評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	<p>&lt; 道産木材の利用量[B] &gt; 平成26年度においては、消費税増税直前の駆け込み需要の反動を受け、新設住宅着工戸数が減少したことの影響などから、実績値が目標値を下回ったが、高次加工施設の整備、高性能林業機械の導入への支援などの木材産業の競争力強化の取組の結果、道産木材の自給率が上昇(H25 55% H26 56%)するなどの成果があった。今後、森林資源の循環利用などを一層推進する観点から「北海道森林づくり基本計画」を見直し、関連施策を強化することとしており、新たな木材需要の拡大も見られることから、さらなる指標の改善も見込まれる。</p> <p>&lt; 新エネルギー導入目標[発電分野]設備容量[A] &gt;                      ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入(平成24年7月)を契機に太陽光などの比較的大規模な発電設備の整備が進んだことにより、実績値が大きく伸びた。                      &lt; 新エネルギー導入目標[発電分野]発電電力量[B] &gt;                      ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入(平成24年7月)を契機に太陽光や風力の導入が進んでいるほか、エネルギー地産地消の取組支援などにより、地域の特性を活かした取組が生まれてきている。                      &lt; 新エネルギー導入目標[熱利用分野]熱量[B] &gt;                      ・エネルギー地産地消の取組支援などにより、バイオマスや地熱など、地域の特性を活かした取組が生まれてきている。</p>	<p>&lt; 施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか &gt;                      ・木質バイオマスを活用した大規模発電施設や熱利用施設の増加が認められ、これらの施設の燃料となる林地未利用材を安定的に供給する体制の構築にも取り組んでいる。</p> <p>&lt; 施策を推進するにあたり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか &gt;                      ・未利用間伐材の効率的な収集・運搬や利用施設等への整備に向け、必要な要望を国に対して実施しており、木質バイオマスの利用が進んでいる。</p> <p>&lt; 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか &gt;                      ・林地未利用材を活用した地産地消型の木質バイオマスの利用促進について、経済団体等の要望等を随時受けており、施策の効果改善に役立っている。</p> <p>&lt; 施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか &gt;                      ・バイオマスエネルギーの利用促進に向けた取組、林地未利用材の安定供給の構築において、関係部と連携した成果が確認できる。                      ・特に、3つの大規模発電の稼働に向けて、林地未利用材が安定供給され、順調に集荷されていることが認められており、木質バイオマスのエネルギー利用については急増する見込み。</p>	+ 評価
関連指標			

総合評価	概ね順調に展開	評価の要	指標の達成度合が概ね順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	------	------------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	林地未利用材のエネルギー利用量は増加しており、今後も「林地未利用材集荷システム実証事業」の結果などを活用し、北海道森林づくり基本計画達成に向け、木質バイオマスエネルギーの利用促進を着実に実行する。		A3156	B4111	C02001、C02004、C02005、C03404、C08811、C09607

施策名	木質バイオマスエネルギーの利用促進	施策コード	07	07
-----	-------------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	木質バイオマスエネルギーの利用促進	施策コード	07	07
-----	-------------------	-------	----	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価			主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
07060300	森林整備加速化・林業再生基金積立金					継続(縮小)	継続(縮小)	縮小	縮小		縮小	
07060400	森林整備加速化・林業再生事業費					継続(縮小)	継続(縮小)	縮小	縮小		縮小	
07061099	木質バイオマス利用の推進に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
07061100	木質バイオマス資源活用促進事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		拡充	

施策名	木質バイオマスエネルギーの利用促進	施策コード	07	07
-----	-------------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p>&lt;新たな取組等&gt;                      地域の森林資源の循環利用が期待され、低炭素社会の実現に有効な木質バイオマスの安定供給を確立するため、伐採作業で発生する林地未利用材の集荷システムや木質ペレットの利用拡大に向けた流通コスト低減などの実証事業を拡充し（木質バイオマス資源活用促進事業）、木質バイオマスエネルギーの利用促進を図っていく。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	木質バイオマスエネルギーの利用促進	施策コード	07	07
-----	-------------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	事業	2 事業	2 事業	事業	事業	事業	4 事業
反映結果	事業	1 事業	1 事業	2 事業	事業	事業	事業	4 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
事業